

## Part 1 基本情報

## 1. ジンバブエプロフィール

- (1) 正式名称 (和文)ジンバブエ共和国  
(英文)Republic of Zimbabwe
- (2) 政体 共和制
- (3) 首都 ハラレ
- (4) 面積 39万1000平方km
- (5) 人口 1246万人(2008年)
- (6) 民族 ショナ人75%、ンデベレ人20%、欧州系1%
- (7) 言語 公用語 : 英語 公用語のほかにショナ語、ンデベレ語
- (8) 宗教 キリスト教と伝統宗教の融合50%、キリスト教25%、伝統宗教24%
- (9) 略史 1300年ごろ、ショナ人のモノモパタ王国がモザンビークまでを支配。1531年ポルトガルの支配下に入る。1855年イギリス人リビングストン、ビクトリア滝に到達。1885年イギリスの保護領、1923年イギリスの自治領となる(南ローデシア)。1953年イギリスによりローデシア・ニアサランド連邦(ジンバブエ、ザンビア、マラウイ)成立。1963年ザンビア、マラウイの独立により、ローデシア・ニアサランド連邦解体。1972年少数白人政権に対する独立闘争激化。1980年ジンバブエとして独立。
- (10) 在留日本人 74人(2011年6月末)
- (11) 気候 国の大部分が高原にあるため、気候は温暖で快適である。11~3月の雨季と5~8月の乾季がある。7月が最も涼しく、10月が最も暖かい。首都ハラレの月平均気温は、7月が摂氏13.1度、10月が20.7度である。

【参考】

「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省  
『最新世界各国要覧 10訂版2000』東京書籍

## 2. 業務のための基礎データ

## (1) JICA事務所の概要(ジンバブエ支所)

住所 : 4 Lucie Lane, Avondale, Harare, Zimbabwe

連絡先 : 国番号 : 263

市外局番 : 4

電話 : +263-4-333076, 334317, 303988, 304051, 332086

FAX : +263-4-339338

時間外・休日などの緊急連絡先 : 該当情報なし。

URL : <http://www.jica.go.jp/zimbabwe/index.html>E-mail : [zi\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:zi_oso_rep@jica.go.jp)

執務時間 : 8:15~16:30(昼休み13:00~14:00)

休日 : 「(3)官公庁の休日」に準じる。

事務所までの交通：

【空港から】

空港からはAirport Taxiを利用する。片道約20~25ドル。タクシーには、Avondale Primary School の方角へ行くよう伝える。

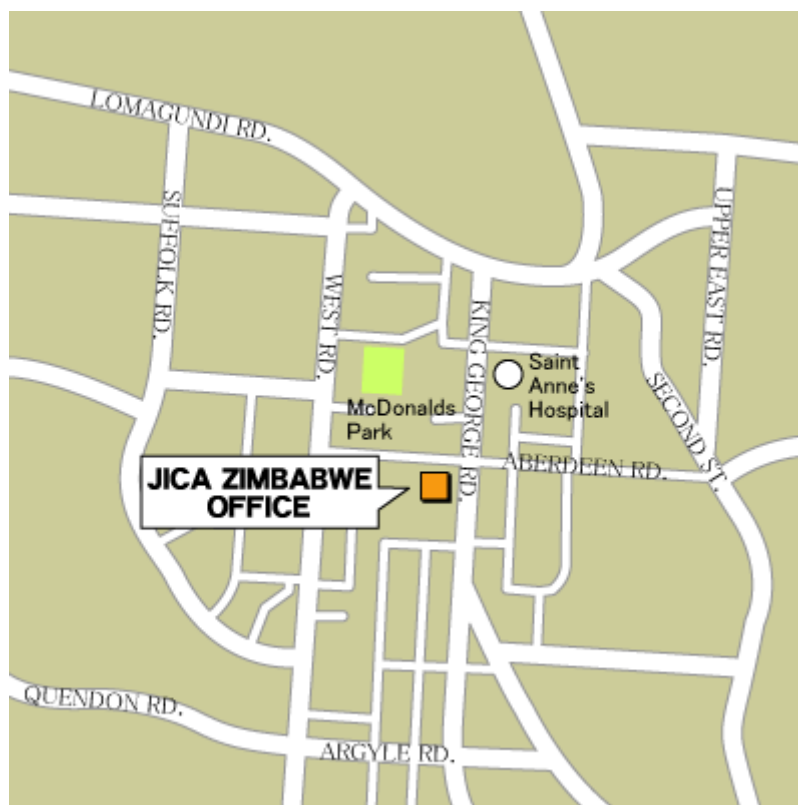
【空港以外から】

タクシーの利用を勧める。タクシーは、ホテルなどで客待ちをしているタクシーか、無線タクシーを利用する。無線タクシーは数社あり、電話をかけて呼び出す。ナンバープレートが白地に赤色ナンバーになっているものがタクシーである。

<無線タクシー>

- ・A1 Taxi 電話：04-703334、706996
- ・Rixi Taxi 電話：04-753081~2
- ・Citicab Ventures 電話：04-301059、369006、338690~9

(2) JICA事務所周辺地図



(3) 日本との時差、  
サマータイム

日本との時差：+7時間  
サマータイム：実施していない。

(4) 祝日、官公庁の休日

祝日：	1月 1日	New Year's Day
	4月18日	Independence Day
	4月22日	Good Friday
	4月25日	Easter Monday
	5月 2日	Worker's Day

5月25日	Africa Day
8月 8日	Heroes' Day
8月 9日	Armed Forces Day
12月22日	National Unity Day
12月25日	Christmas Day
12月26日	Boxing Day
(2011年)	

官公庁の休日 : 上記祝日と土曜日、日曜日

- (5) ビジネスアワー
- 官庁 8:00~16:30 (役所は金曜日のみ16:00終業、土日休み)  
 銀行 8:00~15:00 (水曜日13:00終業、土曜日11:30終業、日休み)  
 商店 8:00~17:00 (土曜日13:00閉店、日曜日はほとんどの店が休業。  
 但し、スーパーマーケットは平日17時以降、  
 土曜日13時以降、日曜日にも営業している店がほとんど)
- (6) 言語
- 業務 : 英語が十分通用する。  
 ホテル、買い物、食事 : 英語が通用する。市場、一般商店などでは、シヨナ語・ンデベレ語が使われることもある。
- (7) 通貨
- 通貨 : アメリカ・ドル(US\$)又は南アフリカ・ランド(ZAR)
- (8) 通貨レート
- 為替レート : 1米ドル=6.67南アフリカ・ランド(2011年7月26日現在)(公定レート)
- (9) 関係機関
- 【在外日本関係機関】
- 日本大使館
- 住所 : 4th Floor Social Security Centre, Corner Sam Nujoma Street/Julius Nyerere Way, Harare, Zimbabwe  
 電話 : +263-4-250025~7
- 【ジンバブエの関係官公庁】
- 外務省
- 住所 : Munhumutapa Building, Samora Machel Avenue  
 電話 : 04-794681、727005
- 大蔵省
- 住所 : New Government Complex, Samora Machel Avenue/4th Street  
 電話 : 04-794571~8
- (10) 有用サイト
- [http : //www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html)(外務省「各国・地域情勢」)  
[http : //www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html)(外務省「渡航関連情報」)

## 1Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のあるハラレの情報を中心に掲載しています。

## 1. ホテル、住宅



Yellow Page

## 1-1 ホテル

赴任当初(住居決定までの間)は通常、ホテルを利用することになる。主要クレジットカードが通用するホテルもある。中・長期滞在の場合は、家具付きのアパート、タウンハウスを勧める。

日本人がよく利用しているハラレ市内のホテルは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。

- ・Meikles Hotel(ミークルズ・ホテル)
- ・Rainbow Towers Hotel  
(レインボー・タワーズ・ホテル)
- ・Crown Plaza Monomotapa Hotel  
(クラウンプラザ・モノモタパ・ホテル)
- ・Holiday Inn(ホリデイ・イン)
- ・Bronte Hotel(ブロンテ・ホテル)



ミークルズ・ホテル

## 1-2 住宅事情

日本人が居住している住宅には、独立家屋、フラット(日本のアパートに相当)、タウンハウス(一戸建て集合住宅で、外部とは塀で仕切られている)などがある。

一般的に古い家屋が多く、新しい家屋は不足気味である。家賃は年々高くなっている。

フラットは街中にもあり、便利かつ安全であるが、物件が少ない。

タウンハウスは日本のアパートと同様であるが、人の出入りの管理が難しく、一部空き巣の被害もあるので、警備員が24時間配置されているなど、セキュリティーが確保される物件を選ぶ必要がある。



フラットの外観Cristina

## 1-3 住宅の探し方

新聞の広告欄を見て、掲載物件をあたるのが一般的である。取り扱い不動産会社に連絡して物件を見せてもらい、気に入ればアプリケーション(申し込み書)を提出しておく。個人扱いの場合は家主との直接交渉になる。

不動産会社に直接依頼する方法もある。この場合、諸手続きは不動産会社が行ってくれる。

また、新聞広告欄に物件情報を求める広告を出すのもよい。  
主な不動産会社は次のとおりである。



- ・Bard Real Estate
- ・Gainsborough Estate Agents
- ・Purkis & Company
- ・Robert Root

前任者の物件をそのまま引き継ぐケースも見られる。赴任直後はほかの日本人駐在員と積極的に情報交換するとよい。住宅は現地での生活の基盤となるため、いずれの方法でも慎重に選定すること。

#### 1-4 住宅選定上の留意点

安全上好ましい環境で十分な防犯設備があること、通勤、買い物、学校への送り迎えなどに便利であることが最低限の条件となるが、以上の条件を比較的満たしている地区は、ローデンシティと呼ばれる旧白人居住地域(北部周辺地域)である。

防犯設備に関しては、敷地はフェンスでなく、コンクリート製レンガ造りの塀で囲まれ、さらにその上に有刺鉄線または高圧電流が取り付けられていること、窓には鉄格子(バーグラーパー)があり、室内は警備会社と無線で結ばれた非常警報装置と赤外線自動センサーを備えていることが必要条件である。これらの設備がない場合、契約前に家主と交渉して設置させなければならない。

敷地内の庭を照らす防犯灯も必須であり、道路の街灯の有無もチェックしておく必要がある。

警備会社と契約して警備員を24時間配置すべきであり、さらに番犬を飼うことを勧める。

一般的な独立家屋は複数の寝室、応接間、台所、トイレ、バス、食堂、車庫、使用人部屋(別棟)からなっており、家具付きもあるが家具なし物件のほうが多い。電気、上下水道、電話は完備されている。

築後20年以上の家屋が多いので、雨漏りの有無や給排水、便器、ギザ(給湯器)、電灯および電話などを十分にチェックする必要がある。

#### 1-5 住宅の契約

入居に際し契約書が交わされる。契約期間は家主との交渉によるが1年間のケースが多い。契約書は慎重に確認し、解約条項を必ず入れること。契約時に保証金として家賃1カ月分相当の前払いが一般的。これは、通常、最終月の光熱費の支払いが完了し、家主が住居、設備、家具などに問題がないことを認めた場合に全額返却される。損傷などが認められた場合は、その程度によって精算される。

日本人の希望条件をある程度満たしている住宅の家賃は、1500～2500米ドルである(2010年10月現在)。

もともと家具のない物件でも、家主との話し合いで家具を備えてもらえる場合もあるが、その分は家賃に上積みされる。自分で家具を調達する場合、最低限揃える必要のあるものは、ベッド、応接セット、ダイニングテーブル、机と椅子、その他付属品

などであり、初期投資として数十万円が想定される。これらは帰国時に売却することも可能である。家具付き住宅の場合は家具の購入、売却の手間が省けるという利点はあるが、丁寧な維持管理が要求される(退去時の検査で家具の損傷などについての交渉が必要となる場合がある)。

解約の事前通告は通常2カ月前までである。

補修条件は契約書に明記されているが、通常、居住者が日常生活する上で汚損、磨耗(じゅうたん、カーテンなど)したものは居住者の責任で、屋根からの雨漏り、給排水の漏れ、汚水濾過施設などは家主の責任で修理することになっている場合が多い。どちらとも決められないものは家主との話し合いで解決すること。入居時に、家屋の各部分の状態を日付入りで撮影しておくといふ。また、家賃に含まれるものと含まれないものをはっきりさせておくことが肝心である。

## 1-6 ガス、水道などの手続きと管理

新規に入居した場合は、電話、水道、電気の供給開始のため、使用者名登録(アカウント開設)が必要である。これは各事業所へ申請書を提出するだけでよい。

電話代の請求書はインターネットからダウンロードできるが、水道代、電気代の請求書は、郵送が一般的。しかし、近年は定期的に郵送されないの、自分で残高を問い合わせ、期日までに最寄りの事業所(電話料金 : TELONE、水道料金 : ハラレ市役所、電気代 : ZESA)へ自分で払いに行くのが一般的である。

ゴミは、使用人が決められた日に収集場所(門のところ)に出す。週1回、市役所により収集される。

し尿処理は濾過方式(セプティックタンクおよびソーカーウェイ)である。セプティックタンク(浄化槽)がいっぱいになったら、市役所に依頼して有料で汲み取ってもらう。

## 1-7 家電

### (1) 電圧

電圧は交流電流220V、周波数は50Hzである。電化製品は単純なものがよい。日本製品を持参する場合は、その容量に見合った入力220V、出力100Vのトランスフォーマー(変圧器)が必要である。

### (2) コンセント、モジュージャックの形

コンセントはイギリス式の3本足プラグで、日本のプラグは直接つなげられないため、日本製品を使用する場合には、BFタイプ角型3ピン(イギリス式)のアダプターが必要である。



モジュージャック

電話のモジュージャックは、一部の家屋では日本のものであって平型のため、日本製品を使用する場合にはアダプターが必要である。比較的新しい家屋では日本と同じモジュージャックのところもある。

## (3)家電製品

品質はやや落ちるものもあるが、ほとんどの製品は購入可能である。

## 1-8 家具保険

各保険会社では、家屋損壊および家財の盗難などを対象とする、家屋、家財保険を扱っている。

## 1-9 その他

特になし。

## 2. 衣料、理容



## 2-1 衣料全般

## (1)一般事情

衣料は、かなり豊富に出回っているが、日本人の体格に合わない場合が多い。

ハラレ市は熱帯サバンナ気候であるが、海拔約1500mの高地にあるため、年間を通じて過ごしやすい。気候周期は雨季(夏)と乾季(冬)に大別される。最も暑いのが雨季前の10月ごろで、最も寒いのは7月ごろである。衣料は夏物を中心に一部、合物、冬物も必要である。

## &lt;雨季&gt;

日本の梅雨時のように雨が一日中降ることはなく、晴れ間がのぞくことも多い。日中は晴れると摂氏30度を超すこともある。基本的には日本の夏服でよいが、曇りや雨の日はやや肌寒く、長袖が必要なときもある。

## &lt;乾季&gt;

非常に乾燥する。特に6、7月は1日の寒暖の差が著しく、平均最高気温は摂氏22度、平均最低気温は摂氏7度である。そのため夜には暖房(ヒーター、暖炉)が必要である。この時期には冬物の服装が必要となるが、昼間の外出にオーバーコートは必要ない。

## (2)日本から持参したほうがよい衣料

下着類は持参したほうがよい。また、日本で着慣れたものを持参するとよい。特にジャケット、スラックス類は持参を勧める。そのほか、通勤用の靴なども自分に合ったものを持参したほうがよい。

子供服、乳幼児用衣類は、中国製品が多く出回っている。

## (3)現地で調達したほうがよい衣料

Tシャツなど、普段着。

## (4)その他の留意点

特になし。

## 2-2 礼装

### (1) パーティー

ジンバブエ政府機関や日本の祝日、公的な行事として行われるパーティーでは、男性は背広と長袖のワイシャツ、ネクタイを着用する。背広の色は特にこだわらなくてよい。

女性はワンピースかツーピースが一般的で、和服やロングドレスを着用する人もいる。

日本人仲間や友人に招かれた場合は普段着でよい。

### (2) 式典

各種式典や冠婚葬祭用のスーツ(夏物でよい)を1着持参するとよい。

### (3) 冠婚葬祭

葬儀には黒いスーツを着用する(特に親族の場合)。

### (4) その他の留意点

パーティー、レストラン、バー、カジノ、ゴルフ場、コンサートなど、場所や時間帯によってドレスコードを設けていることがあるので、事前に確認する必要がある。

## 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

### (1) 洗濯

一般的に洗濯は家庭で行っている。現地でも輸入の洗濯機、アイロン(必需品)が市販されており、現地購入でも特に問題はない。

クリーニング店は市内に多く、ドライクリーニングも可能であるが、仕上がりが悪い。

### (2) 仕立て、修繕

仕立店は市内に多数あるが、仕立て技術はあまり高くない。

修繕用に簡易ミシンがあると便利である。

### (3) 保管

一年を通じて湿度が低いため、カビの心配はあまりないが、雨季にはカビが生えることもある。

保管の際に防虫剤を入れておくとよい。

## 2-4 美容院、理髪店

美容院は、大きなホテル、ショッピングセンターにある。住宅街で個人経営しているところも多い。理髪店も、大きなホテル、ショッピングセンターにある。基本的にカットのみで、洗髪、ひげそりは含まれないが、洗髪は頼めばやってくれる。

シャンプー、リンス、カラーリング剤、整髪料類は値段は高いが、多数出回っている。

### 3. チップ



#### 3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

チップの習慣がある。

(2) 各種サービスに対するチップ

ホテルのボーイ : 荷物1個につき1ドル程度。

レストラン : 代金の5~10%程度(ただし、請求金額に含まれている場合もあるので要確認)。

### 4. 食生活



#### 4-1 外食

(1) 一般事情

2009年の米ドル化以降、新しくオープンするレストランが増えている。特に週末は込み合うので、予約をしてから行くことを勧める。

(2) 飲食店

主なレストランは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。

<西洋料理>

- ・La Fontaine
- ・Miller's
- ・Miller's Cafe
- ・Seasons
- ・Amanzi
- ・Leonardo's

<フランス料理>

- ・Bagatelle
- ・La Francais
- ・Alo Alo

<ギリシャ料理>

- ・Taverna Athena

<南米料理>

- ・Mojos Churrascaria

<中国料理>

- ・Shangri - La
- ・China Garden
- ・Great Wall

<韓国料理>

- ・Shilla

<イタリア料理>

- ・Victoria 22

Yellow Page

- ・Piccopello Pizzeria

- ・Da Eros

#### <ポルトガル料理>

- ・Coimbra

- ・CasCais

#### <インド料理>

- ・Delhi Palace

- ・The Sitar

- ・Jaipur

#### <その他の料理>

- ・Fishmonger

- ・Blue Banana

このほかにも多くのレストランがある。

## 4-2 食料

### (1) 一般事情

全国的に栽培されている穀物は、メイズ(トウモロコシ)、ソルガム、小麦、豆類などである。主要な穀物(主食)はメイズである。農作物の生産は天候に大きく影響されるが、国内の食糧は自給できるといわれている。そのほか、野菜、果物、コーヒー、紅茶などが生産されている。

2007年に始まったプライス・コントロール時下は、牛肉などの肉類、食用油、パン、砂糖など、ほとんどの食料品は通常のスーパーマーケットでは入手出来ない状況だった。しかし、2009年2月の米ドル化以降は、ほぼ何でも手に入るようになっている。ジンバブエ産の物より、南ア製品の方が多く見られる。

### (2) 主な食品の出回り状況

#### <米>

国内ではほとんど生産されていない。周辺国(マラウイなど)から輸入された長粒米(インディカ種)がスーパーの店頭に並んでおり、一部の中華レストランや中国食材店には、中国やオーストラリア産の短粒種が並ぶこともある。

#### <パン>

種類も多く、店を選べば味もまずまずである。

#### <肉類>

牛、鶏、豚、羊などが入手できる。

#### <乳製品>

牛乳、バター、チーズなどがあり、品質もよい。南ア製品も多く出回っている。

#### <野菜>

タマネギ、ニンジン、ジャガイモ、キャベツ、トマト、キュウリ、マッシュルーム、レタス、セロリ、カボチャなどは一年中ある。白菜、大根、ナス、オクラ、ネギ、ショウガな

どは季節によって出回る。ゴボウ、レンコン、ヤマイモなどはない。

#### <果物>

オレンジ、モモ、ブドウ、スイカ、メロン、リンゴ、パパイヤ、マンゴー、プラム、バナナ、キウイ、アボカド、アプリコット、イチゴ、ライチなどがある。

#### <魚類>

カリバ湖でとれるティラピアなどの淡水魚、ニャンガで養殖しているマスが入手できる。一部のスーパーでは、エビ(ロブスター、プロウン、シュリンプ)、カニ、イワシ、イカ、タイ、タラ、ムール貝など冷凍の海産物が入手できることもあるが、保存状態が悪いこともあるので、気をつける必要がある。今年に入ってから、ヨーロッパから直輸入の魚屋がオープンし、生牡蠣なども手に入るようになった。

#### <調味料>

塩、砂糖、しょうゆ、酢、各種ソース、マヨネーズ、カラシ、トマトケチャップ、タバスコ、わさび、スープの素などが入手できる。酢、しょうゆ、マヨネーズの味は日本のものとは異なる。そのほか香辛料も豊富に出回っている。

#### <食用油>

植物油(コーン、オリーブ、ひまわり)が販売されている。

#### <酒類>

ビール、ワイン、ウイスキー、ブランデー、リキュールなど、国産品、輸入品を含めて容易に入手できる。特にワインは南アフリカ産のものが多く輸入されており、種類も豊富である。

#### <飲用水>

水道水は煮沸する必要がある。カルシウム分が多く含まれるため、できるだけミネラルウォーターを飲むほうがよい。ミネラルウォーターは手に入る。

#### <その他>

国産のビーフジャーキーや、マカデミアナッツ、ピーナッツ、ピーカンナッツなどナッツ類が入手できる。コーヒー、紅茶は輸出されている。

#### (3) 食料の入手

各住宅地域にあるショッピングセンターなどでの購入が一般的である。ほとんどのスーパーは営業時間が平日8:00~19:00だが、最近は夜10時くらいまで開いているスーパーもある。日本食品専門店はないが、アボンデール・ショッピングセンター(所在地: King George Road, Avondale)の中華食材店や一部のスーパー(SPAR)には、種類や数は限られるが、キッコーマンしょうゆ、のり、緑茶パック、米(オーストラリア米)などが置かれている(価格は日本の3倍以上)。中華食材店では自家製豆腐も販売されている。日本人でも自家製豆腐を個人販売している人がいる。インスタントラーメンは、中国製やシンガポール製のほか、香港製の出前一丁が売っている。ほとんどの日本食材は現地では手に入らないので、事前に郵便または引っ越し荷物として必要な量を送ると役に立つ。現地で入手できない食品は、ヒジキ、ワカメ、カレールー、白玉粉、日本そば、日本食の缶詰類、昆布、漬物類、切り干し

大根、日本茶、みそ、豆腐の素などである。

中国製干しシイタケは中華食材店でたまに入手できる。また、独立家屋では庭の一部を利用して、日本から持参した種で野菜（ゴボウ、白菜、大根、青ジソ、春菊、三つ葉など）を栽培している人も多い。

主なスーパーマーケットは以下のとおり。



・SPAR

### 4-3 食器、調理器具

#### (1) 食器、調理器具などの入手

調理は主に電気プレートで行われているが、まれにガスを使っている人もいる。（ガスは停電時に役立つ）。食器、調理器具、台所用電化製品は、外国製品を中心に、市販されている。ただし、炊飯器（海外仕様の圧力釜）は、日本から持参したほうがよい。

#### (2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

日本特有の食器類（ご飯茶碗、湯のみ、汁碗、どんぶり、はし、割りばし）は持参したほうがよい。

そのほか、使い慣れたものを持参するとよい。ただし、電気プレートを使用することを考慮して、鍋底は平らなものがよい。

## 5. 生活用品の購入 5-1 家電製品



品質はやや落ちるものもあるが、ほとんどの家電製品は購入可能である。購入できる地域はハラレ市内で、主な店は以下のとおり（詳細はイエローページを参照）。

・TV Sales & Hire

### 5-2 家具

輸入品はやや高いが、購入できる。一般に、家財道具購入にかかる免税手続きは行われていない。

ハラレ市の中心部には多くの家具専門店があり、郊外にも大型店がある。中古やアンティークの店もあるので、あたって見るとよい。

### 5-3 日用品、雑貨

日用品、雑貨はハラレ市内で購入できるが、種類が少なく、中国製で品質が落ちるものが多い。文房具は種類が少ないため、日本から持参することを勧める。

### 5-4 工具、素材

ハラレ市内で購入できるが、品質は日本製品よりやや落ちる。主な店は、以下のとおり。



- ・Jaggers Wholesalers (Pvt) Ltd.
- ・Makro Cash & Carry Wholesalers

## 6. 金融機関



### 6-1 金融機関

#### (1) 銀行

現地の金融業界は、中央銀行、商業銀行、マーチャントバンク、住宅協会、ファイナンスハウス、ディスカウントハウスなどからなっている。

Reserve Bank(中央銀行、76 Samora Machel Ave. 電話 :04-790731)は日本銀行に相当するものである。

商業銀行のうち、日本人が利用している銀行は次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。



- ・Barclays Bank of Zimbabwe Limited (バークレー銀行)
- ・Standard Chartered Bank Zimbabwe Limited(スタンダード・チャータード銀行)
- ・Stanbic Bank (スタンビック銀行)

バークレー銀行に口座を開設する場合は、銀行に開設申請を行う。口座は、USD(米ドル)・EUR(ユーロ)・ZAR(南アフリカランド)・GBP(英ポンド)・BWP(ボツワナプラ)の通貨で開設することができる。

#### (2) 口座の開設と閉鎖

外貨口座は外国からの送金を受け、また外国へ送金することができる。

外貨口座の閉鎖は、引き出し申請書に口座を閉鎖する旨を記入して提出し、残金を受け取る。その際、手数料がかかる。

#### (3) 小切手

ジンバブエ・ドルが流通していた頃は、小切手の利用頻度は高かったが、米ドル化になってからは、小切手はほとんど利用されていない。利用は可能だが、利用限度額はあまり高くない。銀行口座開設時に申し込めば、2~3週間で作成される。

### 6-2 クレジットカード

大きなホテル、土産物店などではVISA、MasterCard、Amexなどの主要なカードは使用可能である。CD、ATMからの現金引き出しは不可能。

## 7. 交通事情



### 7-1 交通手段

#### (1) 一般事情

交通手段としてタクシー、レンタカー、バス、鉄道、航空機などがあるが、一般には安全性から自家用車が多く利用されている。道路状況はほかのアフリカ諸国に比べれば良好であるが、道路のあちこちに穴が空いている(特に雨季)ため、運転には注意を要する。この穴が原因で、毎年雨季には交通事故死者が出る。また車両

の台数が増えており、ハラレ市内では通勤、帰宅時には道路が混雑する。

市内タクシーは多く、無線を備えているタクシーもあるので、電話で呼び出すことができる。予約も可能であるが、予定の時間に遅れることもあるので注意が必要である。

ホテルのタクシーか下記のタクシー会社の利用が安全である(詳細はイエローページを参照)。両社とも24時間営業である。



・A1 Taxi

・Rixi Taxi

#### (2) 空港から市内への移動

空港タクシーの利用が可能である。ただし、料金はやや高い。空港からJICA事務所までは20～30ドルくらいである。一般のタクシーの利用は困難。

#### (3) 自家用車を利用する場合

スピードの出しすぎには十分注意すること。道路標識、工事中の標識、信号機のランプ切れなどの不備が見られるので、慣れるまでは注意が必要である。信号機のランプは日本より小さい。

車検制度が普及していないため、方向指示器、ブレーキランプ、ヘッドランプなどが点灯しない車や、その他の整備不良車も走行している。また、道路灯の設置はまだ一般的でなく、見通しが非常に悪いため、夜間の長距離運転はできるだけ避けたほうがよい。

ラウンドアバウトの通行(右側から来る車が優先)には、特に注意を要する。

#### (4) レンタカーなどを利用する場合

レンタカーを利用する場合は、整備状況、操作機能の確認、特に盗難防止装置の確認が必要である。契約書を交わすことになるので、内容をよく確認すること。

車両のみのレンタル(運転免許証の提示を求められる)も、運転手付きのレンタルも可能である。レンタル料金は、車種、レンタル期間によって設定されている。これには基本料金、走行距離による料金、保険料が含まれるが、ガソリン代は個人の負担になる。また、運転手付きの場合は運転手の日当と残業代、食事代などが請求される場合がある。

ハラレ市内のレンタカー会社は次のとおりである。この他にも、旅行代理店によっては、レンタカーを利用できる。



・Excellence Car Rental

・Moneylane Car Rental

・AVIS Rent A Car

#### (5) 地図

Automobile Association of Zimbabwe(AAZ)発行の全国道路地図、Totalのハラレ市内地図や各種道路地図が役立つ。また、土地・農業省測量総局作成の各種地図もMap Shop(Electra House, Samora Machel Ave.)で入手できる。

## 7-2 交通事故、盗難

### (1) 対処方法

交通事故は多い。事故を起こした場合はまず警察に通報すること（GeneralEmergency 電話：999。中央警察 電話：04-733033）。

どのような状況でも事故車は動かさないこと。負傷者がいる場合は、警察または周囲の人に救急車を手配してもらう。ポリスレポートが終了したあと、保険会社に連絡し、大使館にも報告する。

### (2) 救急病院

総合病院は24時間体制である。負傷者には十分注意して対応すること（詳細はイエローページ「13.医療機関」を参照）。



- ・Avenues Clinic
- ・24 Hour Emergency Room
- ・Trauma Centre
- ・Corporate 24 Medical Centre

### (3) 車両の盗難、車上荒らし

車両の盗難が頻発している。車には防犯アラーム、シリンダー型ドアキーなどを取り付けるのが一般的である。信号待ちでの停車時のスマッシュ&グラブを防ぐ為、ハンドバッグ等は助手席の座席の上には置かず、助手席の足元に置いたり、トランクに入れるようにすること。

## 7-3 交通違反

### (1) 交通法規

車両は左側通行である。速度制限は市内で時速60km、その周辺道路で70～80km、郊外では100～120kmである。

警察のバイク（白地に青と黄色のライン入り）に先導された車両が同車線や反対車線を通過する場合は、ただちに左側へ寄せて停車しなければならない。

停車しないと、発砲される恐れがある。

### (2) 罰金、罰則

駐車違反、速度違反の取り締まりが行われており、違反者には罰金が科せられる。また、車両の整備についての取り締まりも路上で行われている。免許証と車の登録証のコピーは必ず携帯すること。

## 7-4 車の修理

### (1) 部品

マツダは現地に組立工場を持っており、現地生産車であれば、保守部品、修理部品はおおむね生産工場かエージェントに保管されている。トヨタ、日産、ホンダ、三菱についても、比較的新しいモデルの部品は現地エージェントに在庫が多少ある。たいていの消耗部品は現地で入手可能であるが、価格はかなり高く、メーカー、車

種によっては取り寄せになる場合もある。日本から車両を持ち込む場合は、赴任前に部品の入手状況を確認しておく必要がある。大衆車では、日産の「サニー」「マーチ」、トヨタの「カローラ」、マツダの「ファミリア(323)」が多く見られる。

タイヤも国産、輸入品共入手可能である。

バッテリーは、国産品と輸入品(南ア製や中国製など)がある。

#### (2) 修理工場

個人・小規模経営の修理工場は町のいたるところにあるが、技術水準が低い。

日本メーカー(トヨタ、マツダ、日産、ホンダ、三菱など)のエージェントが運営しているサービス工場であれば、技術的に問題は少ない。また、日本人経営の小規模の整備修理工場があり、通常の整備・点検であれば安心して任せることができる。

 Yellow Page

・MR X-Haust MR Tyre

・Shinto Motor

## 8. 通信



### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

電話は普及しており、外国人が住む家屋やフラットのほとんどのに備えられている(家主名義になっている場合が多い)。ただし、新規設置は非常に時間がかかる(半年~1年)ことが多い。電話料金は月末締めであり、請求は1カ月ごとに指定の住所に送られてくる。入居後1~2カ月は前住人の使用分である。TELONE(郵便公社)で一時使用契約(テナポラリー・ユーザー契約)をすれば、入居日以降の電話料金が請求される。この場合、契約金(解約時に返金される)が必要である。最近は備え付けの電話は利用せず、携帯電話のみを使う人が増えている。ただし、通話料金は、備え付け電話の方が安い。

#### (2) 国内電話

ほとんどの地域にダイヤル直通でかけられる。しかし、加入者ケーブルが古いため、雨季には多くの地域で故障(不通、混線など)が生じることが多い。

市内20km以内の通話料は3分間USD0.15である。

#### (3) 国際電話

ダイヤル直通である。「00-国番号(日本は81)-最初の0を除いた電話番号」で、ほとんどの国にかけることができる。コレクトコールは受け付けていない。

#### (4) 携帯電話

携帯電話は普及しており、現在、主な都市で使用することができる。新規プリペイド・ラインは約3~5ドル(携帯電話会社によって違う)、GSM方式、NOKIA各種本体価格は、100~300米ドルである。日本の携帯電話は使用できない。Netone、Econet、Telecelなどの携帯電話会社(詳細はイエローページを参照)に行き、SIMカードを購入する。

 Yellow Page

## 8-2 電信

### (1) ファクシミリ

電話回線があれば簡単に接続できる。現地でも購入できるが、子機(ワイヤレス)がついたファクシミリ付き電話は現在のところない。

落雷によるファクシミリの故障が多いため、雷雨の可能性のあるときにはプラグと電話ケーブルを抜くなどの注意が必要である。落雷よけの機器は現地で購入できる。

### (2) テレックス

現在はほとんど使われていない。

### (3) 電報

TELONEで扱っているが、電話が普及しているため一般的ではない。

### (4) インターネット

普及しているが、速度は遅い。プロバイダーが数社ある。主な現地プロバイダーは次のとおりである。



- ・Mweb
- ・Africa Online
- ・Zimbabwe Online
- ・YoAfrica

## 8-3 郵便

### (1) 一般事情

郵便はZIMPOSTによって運営されている。郵便物の受け取りには私書箱を利用する方法と宅配とがある。

日本から現地へ発送する場合、あて先は私書箱、自宅のどちらでも問題はない。航空便2～3週間、船便2～3カ月。輸送・配達途中で封筒が破れたり、箱が壊れたりすることがあるので、梱包には十分注意する必要がある。EMS(5～10日間)も扱っている。

ジンバブエからはがき・封書を送る場合、10gまでUS\$0.50/R5.00(アフリカ圏)、US\$0.75/R7.50(ヨーロッパ圏)、US\$1.00/R10.00(その他日本など)である。郵便小包で郵送する場合、日本までは航空便US\$15.00/kg。船便は扱っていない。

### (2) 課税

小包や、内容物が課税対象である郵便物が届くと郵便局から通知がくるので、その通知を持って中央郵便局か地域郵便局へ受け取りに行く。小包に対する税金は内容物の価格プラス運賃から免税額を引いた金額にかかり、税率は約40%である。適量の食料品や中古品などには課税されない場合もある。

- ・中央郵便局

所在地 : Corner Baker Ave./Inez Terrace St.

電話 : 04-743797/8

執務：(月～金)8:00～16:30、(土)8:00～11:30

(3) 国際宅配サービス



OCS、DHL、FedExの航空輸送サービスがある。

## 9. コンピューター



### 9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の仕方

近年は輸入品のパソコンや周辺機器、消耗品が増えてきて、調達が可能であるが、価格は日本より高い。コンピューター関係を取り扱う会社も多数ある。

(2) 使用の際の注意

該当情報なし。

(3) 修理

修理業者がいる。

## 10. 職場環境、勤務条件



### 10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間 (JICA事務所)

就業時間は、8:15～13:00、14:00～16:30(昼休み13:00～14:00)である。

残業は、一般的に少ない。

(2) 有給休暇

年次有給休暇は各機関が定める日数。

(3) 通勤事情

自動車通勤となる。ハラレ市内勤務の場合、職場までの通勤時間は10～20分である。

## 11. 出入国手続き



### 11-1 入国

(1) 空港施設概要

ハラレ国際空港では、新空港ターミナルが2001年4月に開港し、設備もよくなった。到着フロア・出口は1つなので、迷うことはない。タクシー、一般車両乗り場は、ともに出口を出てすぐのところにある(1カ所のみ)。

(2) 入国手続き書類

日本でビザを申請する必要はなく、空港の入国審査カウンターで入国ビザ(Entry Permit)を取得し、必要があれば国内の入国管理事務所でも延長やTEP、RPなど所定のビザ取得手続きを行う。なお、一般入国ビザの取得には30米ドルが徴収される。ジンバブエのビザ規則は次のようになっている。

<ビザ規則>

・ビジネス：30日まで入国許可(Entry Permit)。

- ・観光 :30日まで入国許可(Entry Permit)、60日延長可(最長90日)。
  - ・労働 :6カ月まで仮雇用許可(Temporary Employment Permit :TEP)、6カ月延長可(最長12カ月)。
  - ・労働・居住 :12カ月超仮雇用と居住許可(TEP & Resident Permit :RP)
- JICA長期専門家は、12カ月を超える滞在となるので、TEPとRPの取得が必要である。

滞在・雇用許可取得の申請に必要な書類(出発前)は、TEP申請書とRP申請書で、この申請書はジンバブエ入国管理局発行の定型用紙を使用する。

申請の際は、次の書類を各2部ずつ添付するよう要求されている。

- ・入国管理局への申請依頼のカバーレター(英文、現地配属先発行)
- ・パスポートサイズの写真(本人分、帯同家族分、カラーでも白黒でも可)
- ・戸籍謄本およびその英訳(英訳には公証人のNotarial Certificateおよび外務省領事部移住政策課の認証と在日ジンバブエ大使館の公印が必要)
- ・職歴証明書(英文、所属元発行。内容は各自用意)
- ・健康証明書(英文、非結核を証明する内容も必要。帯同家族分を含む。健康診断を受けた際に作成してもらう)
- ・最終学歴証明書(英文)
- ・パスポートのコピー(番号、発行地、発行者、有効期限、家族同伴の場合は同伴家族分も含む)
- ・A1フォームのコピー(指定されてはいないが、添付したほうがよい)

### (3) 入国審査

パスポート、入国審査用紙(機内で配られないこともよくあるが、入国審査カウンターの前にも置いてある)を用意する。質問事項は入国目的と滞在期間である。

### (4) 税関検査

一般に、多くの荷物を持っている外国人は必ず検査があると思ったほうがよい。個人で使用する衣類、洗面・化粧品用品、カメラ、計算器、時計、ヘアドライヤーなどは無税である。

一定額を超えるもので、個人のものでなければ申告の対象となる。

外貨持ち込み額の申請・承認はなくなった。

### (5) 空港内での留意点

荷物が紛失した場合は、ロスト・ラゲージ・カウンターで確認、手続きをする。通関時の荷物検査の可能性もある。

### (6) 出迎え

レンタカー会社のドライバーによる出迎えであっても、空港出口は一ヶ所であるため、迷うことはない。

### (7) 空港からの主な交通手段

タクシー、バスなどがある。タクシーが便利である。

### (8) その他の留意点

家族と一緒に赴任する場合は、TEPとRPの申請書に家族の名前を記載しておく、本人と同時に承認され、TEPのなかに家族の名前が付記される。家族帯同が本人赴任後に決まった場合には、家族の名前を追加申請する。

着任後すぐにTEPとRPの許可証(A4サイズの紙)を取得しておけば、その後の活動に非常に有効である。出発前に必要書類を完成し、現地に送付して申請しておくことが重要である。申請から許可取得まで1、2カ月間かかること、郵送に7～10日かかることなどを考慮すること。

滞在許可承認後、入国管理局から配属先へ「承認したので同局へ出頭して手続きを行うように」という内容のレターが届く。着任後、同局に行き、TEPを受け取るとともにパスポートに押印してもらう(RPの発行はない)。

・Department of Immigration Control (入国管理局Headquarter)

所在地 : 1st Floor, Linquenda House, Baker Ave.

電話 : 04-791913

## 11-2 出国

### (1) 出国時の概要

搭乗手続き後、税関、出国審査、手荷物X線検査を通過して待ち合いロビーに行く。

### (2) リコンファーム

3日前までに一度行う。念のため、搭乗日当日にも再度確認する必要がある。この時、フライト予定時刻の変更の有無も確認するとよい。

### (3) チェックイン

出発2時間前までに空港へ到着すること。

### (4) 空港利用税

空港使用料30米ドルは航空券代に含まれるので、空港で支払う必要はない。

### (5) その他の留意点

TEP有効期間に出国する場合は、再入国ビザを取得する必要はない。備え付けの出国カードに記入し、提出する。

## 11-3 帰国手続き

### (1) 帰国時に必要な事務手続き

空港の出国手続きカウンターでTEPを返却する。納税証明を税関より取得する。

### (2) 車の処分

知人、自動車販売会社、新聞広告欄などを通して売却先を探す。売却手続きは、まずSoutherton(サウザートン)警察署で、車両、エンジンナンバーの検査を受け、確認済みの証明書を受領し、名義変更窓口へ提出する。名義変更申請書に確認スタンプを押してもらえば、手続きは終了である。

買い手は、保険加入後、保険証書を添えて車両登録証の登録者変更を市役所で

行う。手続きには約2時間かかる。売り手にも買い手にも税金の支払いはない。

・Southerton Police(サウザートン警察署)

所在地 : South Avenue, Southerton

電話 : 04-668438/667032/667012

担当部署 : Vehicle Registration Section, Criminal Investigation Department  
(CID)

必要書類 : 車両売買契約書、車両申請書(同警察署で入手)、車両登録証、保険証券

### (3) 家財道具の処分

家財道具などは、知人や新聞広告欄などを通じて処分するのが一般的である。

入国時の通関書類はすべて保管しておく必要がある。

日本への返送には輸出許可を取得しなければならない。

手続きには輸出許可(中央銀行の承認)が必要であり、口座を開設している取引銀行を通して行われる。許可取得には2週間以上かかる。次に通関(輸送会社が手続きを代行)があるが、これは数日で取得できる。

輸出許可に必要な書類は次のとおりである。

輸送会社の見積書／荷物リスト(自分で作成する)／CD-1フォームおよびAフォーム(様式は取引銀行のExchange Controlで入手)／TEPのコピー／税証明書(Department of Taxesで簡単に取得できる)／パスポートのコピー

運送会社は以下のとおり(詳細はイエローページを参照)。



Air Link (Pvt) Ltd.

・Manica Zimbabwe Ltd.

壊れやすいものの輸送は避けたほうがよい。

### (4) 住宅の明け渡し

賃貸契約で定められている期限内に家主に通知する。家、設備、家具などの損傷、破損、不足を確認してもらい、査定の上、保証金を受け取る。

### (5) 外貨持ち出し規制

10,000米ドル

<必要書類>

152フォームおよび40フォーム／赴任時の輸入書類(荷物輸送のBill of Entryや車の書類など)一式／現地での物品購入の領収書など／TEPなどの書類／パークレー銀行マネージャーあてのレター(いくら換金したいかを記入しておく)

これらの書類を提出すると、パークレー銀行が申請者に代わって中央銀行に申請し、承認を受けることになる。

## 12. 治安、 緊急時の心得



※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

### 12-1 暴動、クーデターなど

#### (1) 一般事情

ジンバブエ・ドルが流通していた頃は、インフレ率、失業率上昇に対する、ステイ・アウェイ(ゼネスト)がときどき行われたが、2009年2月以降の米ドル化してからは、起きていない。基本的にジンバブエ人は穏やかな性格なので、あまり暴動が起こることはないが、以前、物価上昇に対する抗議デモが暴動にまで発展した例がある。

#### (2) 対処法

緊急時の連絡網は、日本人会に整備されている。連絡手段には、電話や無線のほか、状況によっては使用人に協力してもらう方法などがある。緊急時には各人が密接に連絡を取り合うとともに情報収集に努める必要がある。

避難場所、避難方法などは大使館の指示に従うこと。

### 12-2 強盗、盗難

#### (1) 一般的治安状況

現在は2008年の大統領選挙の混乱を脱し、比較的平穏であるが、油断大敵である。2009年の犯罪件数は、2008年より20%減であった。節度ある行動及び、アフリカ地域における一般的留意事項(夜間外出を控える等)を厳守した場合、犯罪に遭う可能性は低い。

過去の日本人の被害状況としては、街を歩行中にひったくりに遭ったり、刃物で脅されてものを取られたりするケースが多い。そのほか、停車中または走行中に、「タイヤがパンクしている」と話しかけられ、車から降りて自分の車を確認している間に別の仲間が車内からものを持ち去ったり、鍵を無理やり壊されトランクのなかのものを持ち去られたりするという例がある。また、住居侵入、使用人による盗難もあるので、十分な注意が必要である。

#### (2) 住宅の防犯対策

##### <住宅>

玄関その他の出入口は二重ロックにし、窓には鉄格子、室内には警報装置などを設置する。外灯も必要に応じ増設する。入居時に通用門、玄関、勝手口などの鍵は新しいものと取り替えること。家屋のなかに緊急時の避難所(外から侵入できない)を設けておくこと。

常に家の周囲に気を配り、不審な人物や車両が家の様子をうかがっていないか確認する。使用人や庭師にもその旨を伝え、気がついた不審人物・車両番号などを控えてもらう。

警備員を雇ったり、警備会社と直結した赤外線センサーやアラームの設置、番犬を飼うことなどが望ましい。家を長期間留守にする場合は、警備会社にパトロールの回数を増やすなどの要請をする。

##### <使用人>

使用人には、家人の行動を他人に吹聴しないよう指導する。また、使用人の家族

であれ、友人であれ、家人の許可なく無断で家に入ることがないように徹底させること。

### (3) 市中での防犯対策

#### <外出時>

身分を証明できるもの(コピーがよい)を携帯していると役に立つことがある。歩行中は常に周囲を警戒すること。貴重品は極力持ち歩かず、持ち歩く場合は直接身につけるバッグに入れるか、首から肩を通して前に提げジャケットで隠すなどする。

3、4人のグループが自分と同じペースでついてくる場合は、複数人による犯行も考えられる。被害に遭いそうな場合は、近くの商店や民家に飛び込むなどして助けを求めること。

路上などで、押し売り、募金活動、宗教講話、時間を尋ねてくる人などに気をとられている間に所持品を取られることがある。不用意に話に乗ったり、すきを与えたりしないこと。夜間の一人歩きや暗いところは徹底して避けること。

#### <自家用車>

車に乗ったらすぐにドアロックする習慣をつけること。窓は閉める。駐車は人目のないところを避け、ショッピングセンター内、公共の駐車場、街灯のあるところなど人目につくところを選ぶ。

盗難に遭う危険性が高いのは、乗り降りのとき、帰宅時に入口で扉が開くのを待っている間、駐車するとき、学校で子供が車から降りるとき、信号待ちのときなどである。まわりに不審な人物がいないか確認すること。

車から離れる際は、ハンドルロック、ドアロックをし、さらに盗難防止の警報装置をセットする。また、車中(車外から見えるところ)に他人の関心を引くようなものを置かないこと。交通事故の発生が多いので、安全運転には十分配慮すること。

盗難防止装置はCar Guard社(所在地 :21 Edison Crescent, Graniteside 電話 :04-771000、749990)などで取り扱っている。

### (4) 注意すべき場所、危険地域

歩行中でも運転中でも、人気の少ないところでは、3~4人のグループにねらわれやすいので、できる限り避けること。込み合ったところ(バス乗り場、バスのなか、込んだ街中など)では、スリなどにねらわれやすいため注意する。また、運転中は信号待ちのとき、あるいは門が開くのを待っている時に襲われているケースがあるため、十分に注意する。ハイデンシティ(人口密集地域)、デモなどで大勢の人が集まりそうな大きな公園、大使館や領事館、欧米関連施設などが危険地域として挙げられる。

### (5) 被害時の心得

ある程度の現金、腕時計、貴金属などを渡して、まず身の安全を図ること。犯人の要求に応えるのが賢明であり、絶対に抵抗してはならない。

緊急連絡先の電話番号は次のとおりである。なお、各警察署は担当地域が定められているので、自宅がある地域の所轄警察署を確認しておくこと。

General Emergency(警察・救急車・消防) 電話 : 999  
中央警察 電話 : 733033、772003  
Avondale警察 電話 : 336632  
Borrowdale警察 電話 : 860067、860061  
Highlands警察 電話 : 495304、495504  
Marlborough警察 電話 : 336647、301801/2  
対車両盗難部隊 電話 : 665524  
Parirenyatwa病院 電話 : 04-701553~7  
Avenues Clinic 電話 : 04-732055  
救急車 電話 : 994、04-722188  
医療救急サービス(MARS)会員のみ : 04-790391~2、771221(緊急時)

### 12-3 火災、風水害、地震

#### (1) 一般的災害発生状況

地震は数年前に一度発生したが、通常はない。

雨季には水害がある。また、落雷による死亡事故も多発していることから、十分注意する必要がある。雨が降っている時、高い木の下には絶対に行かない。日本のような台風はない。

日本人が住んでいる地域の家屋は煉瓦造りなので、火災があっても隣家への延焼は少ない。

消防署 電話 : 993

#### (2) 防災対策

ヒーター、電気コンロなどの過熱、漏電に気をつけること。都市ガス、プロパンガスは普及していない。

#### (3) 被災時の心得

下記の「緊急時連絡先」に通報する。

### 12-4 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館 : 04-250025~7
- ・General Emergency : 999
- ・警察 : 995
- ・消防 : 993
- ・救急車 : 994

## 13. 社交



### 13-1 風俗習慣

都市部での生活習慣はほとんど西欧化されているため、特に戸惑うことはない。

白人社会における風俗習慣と黒人社会における風俗習慣とが存在しており、両者の生活スタイルは異なっている。

### 13-2 パーティーでの留意点

日本人の着任・帰任の際の歓送迎パーティー、大使館主催の天皇誕生日パーティー、配属先によるパーティー、日本人・現地の人によるホームパーティーなどがある。

服装はあらかじめ確認すること。会場では、パーティーの目的、招待客、形式(ビュッフェ・スタイルかカクテル・スタイルか)などを考慮し、多くの人と交流して楽しくすごすよう心がけることが大切である。

### 13-3 来客時の留意点

招待した客に失礼がないよう、誠意を尽くすこと。

### 13-4 訪問時の留意点

招待されたことを感謝し、気持ちを表すこと。土産物は花束やワインなどがよい。

### 13-5 禁止されている言動(タブー)

人種差別に関する言動は慎むこと。政治の話もしないほうが賢明である。

### 13-6 日本人会

ジンバブエ日本人会があり、日本人会主催の行事がごくたまにある。

### 13-7 JICA帰国研修員同窓会

JICA帰国研修員の同窓会は、2003年9月12日に発足している。

### 13-8 現地の人々との交流

お茶や食事に誘って自宅を訪問し合うことが多い。また、結婚式にも大勢の人を呼ぶので、気軽に参加して交流することができる。

## 14. 教育



### 14-1 教育事情

#### (1) 一般事情

教育制度は小学校7年、中学校4年、高校2年、大学4年、その他短大、各種専門学校となっている。ジンバブエでは、独立以来、基礎学力の向上に力を入れてきたが、校舎、教師、教材、教育予算の不足ははまだ解消されていない。

## (2) 日本人学校

2010年11月現在、日本人学校はない。日本人の子女が少ない為、補習校もない。

## &lt;海外子女教育振興財団&gt;

URL : <http://www.joes.or.jp/>

受付時間 : 9:30~17:00(月~金曜日、祝日・年末年始を除く)

## ・東京

住所 : 〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

電話 : 03-4330-1341 FAX : 03-4330-1355

## ・関西分室

住所 : 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル3階

電話 : 06-6344-4318 FAX : 06-6344-4328

## (3) 現地校、外国人学校

ハラレ市内の学校は、公立校は学区制で、学校設備は整備されている。授業はすべて英語で行われている。

ハラレの私立校は公立校より設備がよく、学区制はない。入学資格は特はない。

実際に日本人子女が通学しているのは、下記のインターナショナルスクール(アメリカンスクール)である(詳細はイエローページを参照)。



## ・Harare International School

インターナショナルスクールは、英語を母国語としない生徒にも配慮がなされており(ESLがある)、小学生以上の日本人子女が通学している。Pre-Kindergarten(4歳)、Kindergarten(5歳)、Grade1~12(6~17歳)が対象となっており、年齢が高いほど、英語のレベルによって学年が落とされることがある。

また飛び級もある。開校は、8月から翌年5月まで。

登下校は各家庭で自家用車による送り迎えをしている。

長期休暇は12月中旬~1月上旬、イースター休暇(その年によって変わるが4月ごろ)、6月上旬~8月上旬である。

## (4) 幼稚園

上記インターナショナルスクールの付属幼稚園のほか、以下の幼稚園がある。



## ・Curious Minds Nursery &amp; Preschool

## 14-2 教育関係施設

## (1) 図書館など

公立図書館は少なく、蔵書の種類、量とも豊富ではない。

会員が少ないため、日本人会でも特に図書は備えておらず、個人的に交換している状態である。日本大使館では小規模ながら図書を備えている。

イギリス、フランス、アメリカ、ドイツなどが自国の文化紹介のため、現地に友好協会を設けている。それらには図書館も付属しており、洋書ではあるが利用できる。

・Alliance Francaise(フランス)

所在地 : 328 Herbert Chitepo Avenue, Harare

電話 : 04-704801/704795

利用時間 : 9:00~13:00、14:00~18:00(火曜日~金曜日)

9:00~14:00(土曜日)

・USA Embassy(アメリカ)

所在地 : 172 Herbert Chitepo Avenue, Harare

電話 : 04-758800

利用時間 : 10:00~16:30(月・火・木・金曜日)

## 15. 家庭の用人



### 15-1 一般事情

ほとんどの日本人は使用人(家政婦/夫、庭師、ベビーシッターなど)を雇っている。

雇用に際しては、前任者や知人の紹介などもあると思われるが、助言をよく聞いて採用することが大切である。労働組合などの問題もあるので、契約書をきちんと作ること。

雇用中は、雇い主と使用人のけじめをつけることも必要である。また、インフレを考慮し、適宜給料を上げることも必要である。

退職時は、契約書をもとに本人とよく話し合い、両者が納得した上で退職させること。感情面から、ときに争議が生じることもあるため十分に注意する。

### 15-2 運転手

#### (1) 雇用

家庭で運転手を雇用することは少なく、関係者のなかでも雇用している人は少ない。

運転手は家事労働者としての適用を受けていないため、雇用する際は一般労働者の雇用条件を適用することになる。

面接時には運転技術を確認することが大切である。給与は家政婦/夫、庭師の2~3倍である。

#### (2) 日常管理

仕事は、朝の洗車から始まり、簡単な保守点検、学校への送り迎え、買い物などである。

走行距離を毎日記録させ、ガソリンの補給は運転手に任せないほうがよい。

#### (3) 教育指導

安全運転について根気強く指導することが大切である。

#### (4) その他の留意点

特になし。

### 15-3 家政婦／夫

#### (1) 仕事の種類と人数

家族構成により雇用人数も異なる。一般的には1人であるが、乳幼児のいる家庭では2人を雇う場合もある。

仕事は、掃除、ベッドメイキング、洗濯、アイロンがけ、皿洗いと片づけ、子守、給仕などである。調理については手伝い程度の場合が多い。

#### (2) 雇用

前任者から住宅を引き継ぐ際に、家政婦／夫もそのまま引き継ぐことが多い。それでうまくいかない場合は、解雇して新しい人を採用することになる。

新たに契約した住宅では、家主がすでに雇用していることもある。この場合うまくいかない場合は解雇して、改めて自分で雇用する。前から働いている人を引き続き雇用するのは、楽な反面、仕事の進め方などに食い違いが生じる可能性もある。

一般に、雇用してから2～3ヶ月程度が見習い期間とされている。この間に使用人の能力、適性を見極め、継続雇用するかどうかを判断して契約書を交わすことが望ましい。

求人は、友人・知人からの紹介が一般的である。新聞の広告欄の利用という方法もある。面接を行い、こちらの要望を説明し、採用予定者には身上調査をすること。また、健康診断を受けてもらい、健康状態を確認する。

雇用の際は、契約書を取り交わすことが大切である。契約書の基本項目は、賃金・手当、雇用期間、勤務時間、仕事内容、休暇・病休、契約破棄条件などである。

一般的な雇用条件の例は以下のとおり。

- ・勤務時間は、月～金曜日が昼休みを含めて9時間、土曜日は4時間で、1週間の拘束時間は49時間となる。日曜・祝日は休日とする。
- ・時間外労働に対しては超過勤務手当を支払わなければならない。平日の超過5時間以内は時間給の1.5倍、5時間を超えると2倍、休日の出勤については通常の勤務時間内は1.5倍、通常の勤務時間を超えた場合は2倍となる。
- ・有給休暇は年間30日間与える。有給病欠は年間22日与えられることになっている(医者の証明が必要)。
- ・本採用後は、当事者のいずれか一方から、1カ月前までの予告で雇用契約を解除することができる。

ジンバブエ・ドルの頃は、Labour Officeによる最低賃金の見直しが随時発表されたが、米ドル化してからは特に定められていない(2010年11月現在)。経験年数、労働条件、能力、住み込みか通いか、相場などを考慮して給与額を決定する。給与は月末に現金で支給する。その際、砂糖、紅茶、石鹼、ミリミール(主食のとうもろこしの粉)などをあわせて支給することもある。

通いの場合は住居費、交通費などの諸手当を支払うよう定められている(通常はこれらを含めて給与額を決定する)。

パートタイマーの場合、時給はフルタイム家事労働者の2倍程度が目安である。

昇給については、年1回の見直しが慣行となっている。法制上ボーナス制度はないが、慣行として12月(クリスマス前)に給与1カ月分を支給している。

解雇をするのは、使用人側に契約違反、不服従、能力欠如、業務不履行、無断欠勤など信頼関係を損ねる行為があったとき、また、雇用主が帰国するときだが、解雇に際しては十分な注意を払う必要がある。

Zimbabwe Domestic & Allied Workers' Union(家事労働者組合)がある。これは家事労働者が頼りにしている組織で、賃金不払いや不当解雇などの調停を労働者寄りの立場で行う組織である。

退職金は勤続5年以上の場合に適用される。ただし日本人の雇用主は、5年未満でも勤続期間、働き具合を考慮して、給与1カ月分以内を目安に退職金を渡している。

また、日本人の雇用主は、使用人が病気になった場合、状況を判断してできるだけの援助をしている。

### (3) 日常管理

使用人にはこちらの要請を明確に伝え、必ず実行させること。使用人との適度なコミュニケーションを図ることも重要である。

## 15-4 庭師、ガードマン

通常、庭師は1人雇用し、庭掃除のほか、門の開閉、外回りの雑事を任せる。また、独立家屋では日本から持参した種で野菜の栽培を依頼している人もいる。

警備員は、警備会社と契約して派遣してもらうのが一般的である。夜間のみの契約も可能であるが、近年の治安状況の悪化から24時間体制を勧める。警報装置、無線機あるいは番犬のレンタルもある。

警備員の質はさまざまなので、ときおり勤務状況などをチェックする必要がある。過度の期待をしてはならない。

おもな警備会社は次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。



- Squad Security
- Fawcett Security
- Time Security
- Safeguard Security Services(Pvt) Ltd.
- Guard-Alert(Pvt) Ltd.
- Chubb-Union Zimbabwe(Pvt) Ltd.

## 16. メディア



### 16-1 新聞、雑誌

#### (1) 現地発行の日刊紙

日刊紙は、以下のものが発行されている。

「The Herald」(英語、最有力全国紙) US\$ 1.00/R10.00

「The Sunday Mail」(英語、「The Herald」の日曜版) US \$ 1.00/R10.00

「Newsday」(英語) US \$ 0.50/R5.00

「Zim Daily」(英語、全国紙) US \$ 1.00

「The Chronicle」(英語、ブラワヨ)

週刊の新聞には、以下のものがある。

「The Financial Gazettes」(英語経済専門紙) US \$ 2.00

「The Sunday News」(英語、ブラワヨ)

「Independent」(英語、ハラレ)

「Mirror」(英語、ハラレ)

「The Manica Post」(英語、ムタレ)

「Kwayedza/Umthunyawa」(ショナ語、ンデベレ語) / 60ジンバブエ・ドル

これらは路上や書店での購入のほか、定期購読も可能である。定期購読の場合は、申込書に必要事項を記入の上、新聞社へ支払いに行く。

#### (2) 日本の日刊紙



日本の新聞はロンドンOCSが扱っており、14~21日遅れで宅配される。

インターネットを通じて購読申し込みが出来る。

#### (3) 欧米紙／誌

『Time』『Newsweek』などが数日遅れで入手可能である。

海外からの新聞・雑誌はキングストーン書店(所在地 : Lenbern House, Union Ave. 電話 : 04-750347~8) その他で扱っている(主にイギリス紙)。国際紙では「Herald Tribune」などがある。

#### (4) 日本の雑誌、書籍

日本の出版物が購入できる書店はない。Amazon.comなどを利用して、インターネットで購入する人が多い。

## 16-2 ラジオ

### (1) ラジオ放送局

ZBC(ジンバブエ放送公社)が、ラジオおよびテレビ放送を行っている。

ラジオ放送に使われている周波数はVHF FM波と短波で、中波による放送はない。また、FM放送も日本と周波数帯が一部異なるので、輸入した日本車についているカーラジオはそのままでは利用できない。

FM放送にはRadio1~4がある。Radio1は英語、Radio2はショナ語およびンデベレ語、Radio3は英語による音楽番組、Radio4は現地語による教育番組といった特徴がある。周波数は、ハラレ市ではRadio1が92.8MHz、Radio2が96.0MHz、Radio3が99.3MHz、Radio4が102.8MHzである。地方に出た場合は調整する必要がある。

### (2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

ラジオジャパンは聴取可能だが、受信状態は季節・時間帯に左右され、必ずしも

安定していない。短波受信機は、日本で市販されている最新の製品が望ましく、アンテナはできるだけ長く張ったほうがよい。時には受信機についているアンテナで十分聴取できることもある。

アフリカ向け放送を受信できる。周波数は、3月末と10月末に変更するので、周波数表を入手のうえ、確認すること。

詳細は下記へ問い合わせるとよい。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から:+81-3-3465-1111

(平日/日本時間10:00~18:00)

日本国内から : 0570-066066

(NHK視聴者コールセンター/平日 10:00~18:00)

<周波数表、番組表の入手>

URL : [http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide\\_j.html](http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html)

(周波数表、番組表確認)

### (3) 聴取可能なその他の外国放送

BBCによるアフリカ向け放送(毎日)の午前の周波数は、3255、7445、6190、9860、21470kHzのいずれかで、午後は、17640、3255、12095、5910kHzである。周波数はときどき変更される。BBCのホームページで聴取時間と周波数を確認することが出来る。

<http://www.bbc.co.uk/worldservice/schedules/frequencies/index.shtml>

VOA(Voice of America)による放送が聞ける。

<周波数表、番組表の入手>

<http://www.voanews.com/english/programs/>

7.405MHz (月~金曜)3:00~6:30、(土・日)3:00~7:00

13.710、15.410MHz (月~金曜)16:30~22:00、(土)16:00~21:30、(日)16:30~22:00

そのほか、短波でドイツ語、フランス語、スペイン語、アラビア語、スワヒリ語による放送を受信できる。また、近隣諸国からの放送も入る。

## 16-3 テレビ

### (1) 地上波放送局

ZBC(ジンバブエ放送公社)1社、1チャンネルのみである。早朝から深夜まで放送している。

### (2) 衛星放送、ケーブルテレビ

専用パラボラアンテナとデコーダーを購入することで南アフリカの衛星放送会社であるDSTVを通じた番組が視聴可能である。映画、スポーツ、ニュース(BBC、CNN

など)、バラエティー番組など、契約にもよるが約40チャンネルあり十分楽しめる。年間視聴料は730ドル(2010年8月現在)である。

NHKワールドTVは2001年8月より受信可能となった。上記DSTVテレビのデコーダーに加工をするか、別途デコーダーを購入することになる。

#### <NHKワールドTV問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から:+81-3-3465-1111

(平日/日本時間10:00~18:00)

日本国内から:0570-066066

(NHK視聴者コールセンター/平日 10:00~18:00)

#### <番組表の入手>

URL : <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/>

(週間番組表確認)

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号258

(週間番組表FAXサービス)

#### (3) テレビ受信

受信はPAL方式で、ハラレ市内であれば室内アンテナでも見られる。

日本からテレビを持参する場合は、PAL方式を含むマルチ方式の受像機にすること。なお、現地でも南アフリカ共和国製、中国製、韓国製のほか、ソニー、東芝などの製品を購入できる。

## 17. スポーツ、 趣味、 語学学習



### 17-1 スポーツ

#### (1) ゴルフ

ジンバブエでは設備の整ったゴルフ場で安価にプレーを楽しむことができる。主なゴルフ場は下記のとおり(詳細はイエローページを参照)。これ以外にも多くのゴルフ場がある。



・Chapman Golf Club

・Royal Harare Golf Club

#### (2) フィットネス

主なフィットネスクラブとして、次のものがある。



・Triton Health, Fitness Rehabilitation

#### (3) その他のスポーツ

ジョギング、サッカー、スカッシュ、テニスなどがある。柔道と空手の道場もある。

### 17-2 趣味

カレッジでムビラやマリンバなど、伝統音楽を習ったり、乗馬を習ったりする子女

もいる。


<乗馬クラブ>

 Yellow Page ・Akervoort Riding School

### 17-3 語学学習

#### (1) 語学学習施設

英語(公用語)、シヨナ語(現地語)、ンデベレ語(現地語)など、いくつかのカレッジで習うことができる。主なものは以下のとおり。

 Yellow Page ・Speciss College  
・Zimbabwe German Society

#### (2) 家庭教師

家庭教師による語学学習は可能である。自宅に来てもらうこともできるし、家庭教師の家に通うこともできる。

## 18. 観光



### 18-1 地方旅行の留意点

ジンバブエ観光の目玉は、ビクトリア瀑布、サファリ(ワンゲ、マナプールほか)、グレート・ジンバブエ遺跡、カリバ湖周辺および東部高原地域である。

外国人の国内旅行について、規則、制約、必要な手続きはない。特にビクトリア・フォールズでは買い物の時、値段をふっかけられるので、注意が必要である。

### 18-2 主要観光地・保養地

#### ○主要観光地

<Victoria Falls(ビクトリア瀑布)>

世界3大瀑布の1つで、世界遺産に登録されている。1885年イギリスのリビングストンによって命名された。長さ1688m、高さ100mで、3~5月ごろの水量が豊富である。周辺の外国観光客向けのホテルは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。

 Yellow Page ・Elephant Hills Inter-Continental Hotel  
・Victoria Falls Hotel  
・Kingdom Hotel  
・Victoria Falls Safari Lodge

<Lake Kariba(カリバ湖)>

ハラレより北へ360km、車でも飛行機でも行ける。カリバダム建設(1959年完成)によりザンベジ川をせき止めてできた世界第1位(総貯水容量)の大きさの人造湖である。カリバ湖の丘からの眺めは雄大であり、釣り、ヨット、ボートが楽しめる。周辺の主なホテルは次のとおりである。

 Yellow Page ・Caribbea Bay Hotel

- ・Lakeview Inn
- ・Bumi Hills Safari Lodge
- ・Fothergill Safari Lodge

#### <Great Zimbabwe(グレート・ジンバブエ)>

ハラレから南へ約350km。アクロポリスの丘、グレート・ジンバブエの神殿、廃墟の谷の3つの部分からなる石造建築物の遺跡である。サハラ以南のアフリカで最大といわれ、11世紀から15世紀にかけて繁栄したジンバブエ王国時代に造られたものと推定されている。ハラレからは車で日帰りすることも可能(片道4時間)である。遺跡のそばに、Great Zimbabwe Hotelがある。

 Yellow Page

#### <Nyanga(ニャンガ)>

ハラレから東約270kmの高地(2000m以上)。避暑地として最適である。ホテルは次のとおりである。

 Yellow Page

- ・Montclair Casino Hotel
- ・Troutbeck Inn

#### <Vumba(ブンバ)、Chimanimani(チマニマニ)>

ニャンガと並ぶリゾート避暑地で、東部山岳地域の南縁に位置する。次のホテルがある。

 Yellow Page

- ・Leopard Rock Hotel(Vumba)

#### <野生動物公園>

壮大なHwange Park(ワンゲ国立公園)、自然公園のBumi Hills(ブミヒルズ)、Mana Pools(マナプール)などがある。Hwange Safari Lodge前に池があり、夜、ゾウの家族が水を飲みにくる。旅行代理店の2、3泊のツアーを利用するとよい。マナプールには5～10月しか入れない。

次のロッジのほか、多くの宿泊施設(ロッジ、テント)が整っている。

 Yellow Page

- ・Hwange Safari Lodge

#### ○ハラレ市内

#### <National Archives(国立古文書館)>

1935年に建てられ、古文書、公文書、歴史関係、写真、資料を多数集めている。入場無料。読書室と展示室の公開時間は月～金曜8:30～16:30、土曜8:00～12:00である。日曜日は休館。

#### <National Gallery(国立美術館)>

モノモタパホテルに隣接する。アフリカ、ヨーロッパの美術品が常時展示されており、ときどき海外からの美術品も紹介する。

地方特有の彫刻技術の進歩を支えるため、研究所が付属している。石の彫刻、民芸品などの販売も行っている。

開館時間 : (火～土曜)9:00～12:00、14:00～17:00。有料。

#### <The Kopje(コピーの丘)>

市の南西にあり、ロバート・ムガベ道路やロッテン道路から登ることができる。18

世紀の終わりに市を開拓した人々を記念してつくられたランドマークをその起源としており、現在も市庁によってよく管理されている。「独立の永遠の炎」はジンバブエの誕生を記念して1980年4月18日に据えられた。

<The Museum(博物館)>

レインボータワー・ホテルの斜め向かい。石器時代から鉄器時代を経て現在の農業に至るまでを、出土品を中心に解説している。また、南部アフリカに生息する動物のはく製を展示している。

開館時間 :9:00~17:00。休館日はない。

<African Unity Square(アフリカン・ユニティ・スクエア)>

ミークルズ・ホテルと議事堂、アングリカン教会などに囲まれた公園である。1890年、南アフリカからの開拓者がここにイギリス国旗を立て、最初の入植を記念した。

○ハラレ市近郊

<Mukuvishi Woodlands(ムクビシ・ウッドランズ動物公園)>

市中からムタレ道路に沿って5kmのところにある動物公園である。285haの土地にシマウマ、ゾウ、キリン、ワニなどを見ることができ、徒歩ツアーも毎日ある。

<Chapungu Village(チャプング村)>

市中からムタレ道路沿い8kmのところにある。ショナの農村をそのまま再現したもので、チャプングとはショナ語で占師を意味する。400人以上の石の彫刻家の作品の展示、即売をしており、彫刻家の作業も見学できる。ジンバブエ伝統の音楽、ダンスが土曜日の15:00、日曜日の11:00、15:00に披露されている。

○ハラレ市郊外

<Epworth Balancing Rocks(エプワース・バランシング・ロックス)>

市中から南に12km。自然の奇石が密集している。いくつかの石がバランスよく縦に積み重ねられているが、これは長い間の浸食による。

開園時間 : (毎日)7:00~17:00。有料。

<Snake Park(スネークパーク)>

市中からブラワヨ道路沿いに11kmのところであり、各種のヘビが展示されている。有料。

<Larvon Bird Garden(ラーボン・バードガーデン)>

市中からブラワヨ道路沿いに12kmのところにある。湖沼の水鳥を含めて400種以上の鳥がいる。放し飼いのクジャクもいる。

開園時間 : (月~水・金曜)11:00~17:00、(土・日曜)8:00~17:00、木曜休み。  
有料。

<Lion Cheetah Park(ライオン公園)>

市中からブラワヨ道路沿いに24kmのところにある私立の動物園である。自動車に乗って、放し飼いのライオンやチーターを見ることができる。ほかにキリン、サル、ワニ、バブーン長寿ガメなどを集めており、小さなサファリのようなものである。

開園時間 : (毎日)8:30~17:00。有料。

### <Domboshawa Rock Painting(ドンボシャワ・ロックペインティング)>

市中からボロデル道路沿いに北東へ25kmのところにある。石でできた丘で、360度の展望が楽しめる。

洞窟内ではコイサン人(バンツ系)の農耕民族が移動してくる前に現地に住んでいた狩猟民族が描いた壁画を見ることができる。夕暮れどきに行くと美しい日の入りが見られる。入園料4ドル。

### <Lake Chivero(チベロ湖)>

市中からブラワヨ道路沿いに35kmのところにある水源地で、57平方kmの広さを持つ人造湖である。北岸では水の豊富な時期にはヨット、ボート、釣り、水上スキーが楽しめる。自然公園もあり、サイ、キリン、シマウマ、ダチョウ、各種のシカを見ることができる。

### <Chinhoy Cave(チノイ洞窟)>

市中から約140km北にチノイの町があり、そこからさらに8kmのところにある。アフリカ中央を走るGreat Dike(グレイト・ダイク)を通って行く。洞窟の底のコバルト色をした池は一見の価値がある。ダイビングも楽しめる。

ハラレ近郊のサファリを楽しめ、宿泊もできるロッジは次のとおりである。



- ・IMIRE GAME PARK(マロンデラ)
- ・Harare Safari Lodge
- ・Bally Vaughn Animal Sanctuary

## 18-3 旅行代理店

旅行代理店は街中に点在しており、チケット購入や宿泊に関する情報を提供してくれる。旅行代理店によって値段は異なるので、いろいろな情報を集めてから決めることを勧める。

ハラレ市内で関係者がよく利用している旅行代理店は以下のとおりである。



- ・Shanyayi Travel

## 19. 私財の輸送、引き取り、購入



### 19-1 家財道具

#### (1) 輸送会社

日本からの私財の輸送については、海外向け貨物を扱っている輸送会社が多数あり、日本で依頼できる。

航空便の場合は、ハラレ空港に届くため、そこに引き取りに行く。船便の場合は、輸送会社との輸送契約は通常CIF契約(運賃保険料込み条件)で、現地(ダーバン港)の保税倉庫まで運んでくれる。現在のところ、南アフリカのダーバン港に陸揚げされ、その後、鉄道かトラックによる陸送となる。日本を出てから到着まで最短で約2カ月を要する。

現地の主な輸送会社は次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。



・Manica Zimbabwe Ltd.

現地の輸送会社の仕事は、ダーバン港に陸揚げされた貨物を内陸輸送で現地の保税倉庫まで運んでくることである。南アフリカで発生する費用、保税倉庫から出す費用がかかる。また、依頼すれば保税倉庫から家まで輸送してくれる(有料)。

### (2) 輸入手続き

長期滞在者は、入国日から半年以内であれば免税である。

私財の輸入に必要な書類は次のとおりである。

#### <必要書類>

日本からの船積み書類(オリジナル)一式/現地輸送会社が発行する貨物到着通知書/滞在許可(TEP)のコピー/A1フォームのコピー

免税を証明する書類を受け取ったあと、輸送会社へ同書類を提出して保税倉庫から貨物を出してもらおう。その際、家までの輸送を依頼するとよい。

アナカン(航空別送荷物)の場合は取り扱い航空会社(ジンバブエ航空/貨物)で Air Waybill、Invoiceおよびリストを受け取り、免税申請書を添えて外務省へ提出する(船便の場合と同様)。

荷物は空港税関へ書類一式を提出し、検査を受けてから受け取ることになる。通常、到着から受け取りまで数週間かかるため保管料がかかる。

輸入時の書類は、輸出時に使うことも考えられるので大切に保管しておくこと。

### (3) 輸入貨物の受け取り港

日本からの船便荷物はすべて南アフリカのダーバン港へ陸揚げされる。航空便はハラレ空港となっている。

## 19-2 自動車

### (1) 一般状況

車両の輸入規制はない。日本または南アフリカからの輸入、あるいは現地での現地生産車・輸入車の購入のどちらも可能である。特に日本からの中古車の輸入が激増している。

### (2) 輸入手続き

長期滞業者の場合には、1人につき1台まで免税(入国後半年以内)で輸入できる。

新車・中古車の輸入とも必要な書類は同じである。

#### <必要書類>

船積み書類(B/L)/NRZ(National Railways of Zimbabwe)が発行する RailAdvice Noteか陸送会社が発行するRoad Consignment Note/輸入車のメーカー、モデル、年式、車体番号、エンジン番号を示す書類/外務省発行の免税許可証(152フォーム)/パスポート/滞在許可(TEP)/税関に用意してある通関申告書(171フォーム)。

上記の書類を揃えて税関に行き、通関手続きを行う。書類に不備がなければ、そ

の場で手続きは終わり、Certificate of Custom Clearanceを発行してくれる。

Certificate of Custom Clearanceを持って保険会社に行き、車両保険に加入、さらに輸送会社のところへ行き、このCertificateを示して車両を引き取る。

日本から輸入する場合、日本の輸出会社とはCIFで契約するのが一般的である。輸送費は30万～40万円ほどかかる。また、手続きが遅れて倉庫に保管せざるを得ない場合は倉庫料がかかる。

### (3) 現地での購入

輸入された新車や日本からの中古車の購入、現地生産車の購入、国内での中古車の購入のいずれも可能であるが、中古車の場合、車の状態を十分に確認する必要がある。

日本車を輸入している現地のエージェントにはTOYOTA Zimbabwe(トヨタ)、AMC Motor(三菱)、Quest Motor(ニッサン、ホンダ)、AMTEC(マツダ)がある。ただし、車種は限定される。

#### <ディーラーから購入する場合>

輸入車、現地生産車の新車、中古車とも購入できる。

輸入の場合は、赴任後現地で輸入車を注文したことになり、在庫があればすぐに購入できるが、在庫がなければ手元に届くまで数カ月はかかる。輸入車購入は半年以内であれば免税扱いである。

マツダは現地生産を行っており、在庫さえあればすぐに新車が入手できる。

### (4) 自動車登録

必要書類は、税関が発行したCertificate of Custom Clearance、車両保険証、滞在許可証(TEP)である。

車両取得後、Southerton(サウザートン)警察署での車体番号、エンジン番号の確認および盗難車でないことの証明書を手りする。確認に2～3時間かかる。次に市役所へ上記の書類を提出し登録する。書類さえ整っていれば、登録は短時間で済む。その場で登録証が作成され、登録番号、登録期限の入ったワッペンを渡される。それを持って町のプレート店に行き、ナンバープレート(黄色)を発注する。作成には2～3日かかる(ナンバープレートなしでも運転は可能)。

#### <登録更新>

一般車の登録更新は1年ごとに行うが、ステッカーの印刷が間に合わないことがあり、その場合は3ヶ月又は半年毎。その際、登録証を市役所の登録係に持って行き、更新料を支払い、登録証に更新確認印を押してもらう。また、フロントガラスに張る更新期限を明示したワッペンを受け取る。

免税車は登録後1年間は所有者の名義を変更できない。

### (5) 免許証取得

日本の免許証から現地の免許証への書き換えができる。日本の運転免許証オリジナルとコピー、国際免許証写しまたは日本の運転免許証の翻訳証明(大使館で発行してもらえる)、白黒写真2枚、申請料を用意し、Central Vehicle Registryに申請

する。約1週間で取得できる。

#### (6) 保険、税金

自動車保険にはThird Party(対人)、Full Third Party(対人、対物。火災、盗難つきもある)、Comprehensive(すべてをカバー)がある。車の取得価格をもとに、保険の種類によって保険料が算定される。更新は1年ごとが一般的である。

事故などの場合は、まず警察への連絡、ポリスレポートの入手、保険会社への連絡、保険会社の査定、または示談となる。

日本のような車検制度はないが、警察の検問ではライト、ブレーキランプ、ミラーなど一般的な整備のチェックがあり、それらがきちんと備わっていない場合には罰金を払うことになるので、定期点検は、安全面も考慮して自主的に行うことを勧める。

## 20. 地方都市



現在、ハラレ以外に滞在する協力隊員・専門家は少ないが、主な地方都市は以下のとおりである。

#### ・ブラワヨ(Bulawayo)

自動車・飛行機・バスでの移動が可能。ハラレとほぼ変わらず過ごしやすい気候である。

#### ・ムタレ(Mutare)

自動車・バスでの移動が可能。ハラレよりも標高がやや高く、気温もやや低い。

#### ・マシゴ(Masvingo)

自動車・バスでの移動が可能。ハラレよりも標高が低く、暑い。

## Part 3 イエローページ

※特に記載のない限り、JICA事務所のあるハラレの情報を中心にしています。

## 1. JICA 事務所

所在地	4 Lucie Lane, Avondale, Harare, Zimbabwe	
TEL/FAX	TEL: +263 (ジンバブエ国番号) -4-333076/334317/303988/304051/332086 FAX: +263-4-339338	
URL/E-mail	URL: <a href="http://www.jica.go.jp/zimbabwe/index.html">http://www.jica.go.jp/zimbabwe/index.html</a> E-mail: zi_oso_rep@jica.go.jp	

## 2. 日本大使館

日本大使館	TEL: 04-250025~7
-------	------------------

## 3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL: 04-250025~7
消防	TEL: 993
警察	TEL: 995
救急車	TEL: 994

## 4. ホテル

・Meikles Hotel (ミークルズ・ホテル)	Jason Moyo Ave., Harare TEL: 04-251705~18 FAX: 04-707753~4 URL: <a href="http://meikles.com">http://meikles.com</a>
・Rainbow towers Hotel (レインボータワーズ・ホテル)	Pannefather Ave., Harare TEL: 04-772633~9 FAX: 04-774667
・Crown Plaza Monomotapa Hotel (クラウンプラザ・モノモタパ・ホテル)	54 Park Lane, Harare TEL: 04-704501~30 FAX: 04-791920
・Holiday Inn (ホリデイ・イン)	Samora Machel/5th St., Harare TEL: 04-795611~9 FAX: 04-727267
・Bronte Hotel (ブロンテ・ホテル)	132 Baines Ave., Harare TEL: 04-707522~7 FAX: 04-721429

## 5. 不動産会社

・Bard Real Estate	69 Samora Machel Ave., Harare TEL: 04-748785/756279/755338 FAX: 04-749507
・Gainsborough Estate Agents	Chisipite S/Centre, Harare TEL: 04-495445/481609/494099 FAX: 04-494062
・Purkis & Company (Pvt) Ltd	1 <sup>st</sup> Floor, Lindsay House Eastlea Shopping Centre Samora Machel Avenue, Harare TEL: 04-746655 FAX: 04-490685
・Robert Root	65 Central Avenue, Harare TEL: 04-252356/250514~5

## 6. レストラン

## &lt;西洋料理&gt;

・La Fontaine	Meikles Hotel TEL: 04-704501
・Miller's	Ballantyne Park Shopping Centre TEL: 04-882747
・Miller's Cafe	Sam Levy's Village, Borrowdale

	TEL:04-883357、0712 218 449
・Seasons	146 Enterprise Road TEL:04-443467~8
・Amanzi	158 Enterprise Road TEL:04-497768、0772 336 224
・Leonardo's	Sam Levy's Village, Borrowdale TEL:04-883158、0772 247 990
<フランス料理>	
・Bagatelle	Meikles Hotel TEL:04-795655
・La Francais	Crown Plaza Monomotapa TEL:04-707816
・Alo Alo	328 Herbert Chitepo Road TEL:04-734974、0712 602 165
<ギリシア料理>	
・Taverna Athena	Kensington Shopping Centre TEL:04-705617~8、0772 295 021
<南米料理>	
・Mojos Churrascaria	10 East Road, Belgravia TEL:0772 499 486
<中華料理>	
・Shangri La	155 Enterprise Road TEL:04-443263~4
・China Garden	17 Rowland Sq. Milton Park TEL:04-2900256、0772 485 565
・Great Wall Restaurant	94 East Road, Belgravia TEL:04-334149、0733 630 220
<韓国料理>	
・Shilla	15 Connaught Road, Avondale TEL:04-304512
<イタリア料理>	
・Victoria Twentytwo Restaurant	22 Victoria Drive, Newlands TEL:04-776429 (要予約)
・Piccobello Pizzeria	47 Glenara Avenue North, Runiville TEL:04-490608
・Da Eros	86 East Road, Belgravia TEL:04-332044
<ポルトガル料理>	
・Coimbra	61 Selous Ave. TEL:04-700237

・CasCais	139 Samora Machel Avenue TEL:04-704830～1
<インド料理>	
・Delhi Palace	50 Gaydon Rd. Greystone Park TEL:0772 385 264、0772 417 212
・The Sitar	2 Cecil Rhodes Drive, Highlands TEL:04-742615、716368
・Jaipur	King George Road, Avondale TEL:0773 277 400、0772 481 044
<その他の料理>	
・Fishmonger(シーフード)	50 East Road, Belgravia TEL:04-302285、308164
・Blue Banana(タイ料理)	Newlands Shopping Centre TEL:04-252269/75
7.スーパーマーケット	
・Athienitis SPAR	Fifeth Avenue Shopping Centre, Harare TEL:04-730755
8.家電製品、家具	
・TV Sales & Hire	118 Harare Street, Harare TEL:04-706946
9. 工具、素材	
・Mica Hardware	1 Shamrock House, King George Rd, Harare TEL:04-336631
・Farm & City Centre	4 <sup>th</sup> Street/Wynne Street, Harare TEL:04-251162-8
10. 金融機関	
・Barclays Bank of Zimbabwe Ltd.(パークレー銀行)	Barclays House, Jason Moyo Ave./1st St. TEL:04-729811/758324 FAX:04-752913/756378
・Standard Chartered Bank Zimbabwe Limited(スタンダード・チャータード銀行)	John Buyne House, Speke Ave./Inez Terrace TEL:04-753212/753215 FAX:04-758076
・Stanbic Bank(スタンビック銀行)	59 Samora Machel Avenue Stanbic Centre, 1 <sup>st</sup> Floor TEL:04-759471-83 FAX:04-749991, 751324
11.タクシー会社	
・A1 Taxi	12 Market St. TEL:04-703334/706996
・Rixi Taxi	5 Samora Machel Ave. TEL:04-753080～2

## 12. レンタカー

## ・Excellence Car Rental

20 Cleveland Ave., Milton Park, Harare

TEL: 04-700222/703354/703327 FAX: 04-703354/703327

## ・Moneylane Car Rental

1704 New Bluffhill, Westgate, Harare

TEL: 04-2921443, 0772 289 737, 0772 546 195

## ・AVIS Rent A Car

Lot 2 Arlington Airport Rd.

TEL: 04-575431 ~ 3/575406 ~ 7 FAX: 04-575481

## 13. 救急病院

## ・Avenues Clinic

Mazoe St./Baines Ave.

TEL: 04-251140 ~ 4 FAX: 04-705872

## ・24 Hour Emergency Room

52 Baines Avenue

TEL: 04-705434/705464

## ・Trauma Centre

15 Lanark Rd., Belgravia

TEL: 04-700666 ~ 8/705535

## ・Corporate 24 Medical Centre

6 Bath Road, Belgravia

TEL: 04-700401, 700410, 700761

## 14. 自動車修理工場

## ・MR X-Haust MR Tyre

Unit 1 Motor City, Seke Rd.

TEL: 04-772984/772986 FAX: 04-753473

## ・Shinto Motor

24 Woodhall Road, Marlborough, Harare

TEL: 0775 079 432

## 15. 携帯電話会社

## ・Netone

Kopje Plaza Building, 16th Floor, Harare

TEL: 04-780011/775361/775366 ~ 7 FAX: 04-750610/780522/759711

## ・Econet

Econet Park, 2 Old Mutare Rd. Msasa

TEL: 04-486121 ~ 6 FAX: 04-486120

## ・Telecel

148 Seke Rd. Graniteside

TEL: 04-780940 ~ 2/780945 FAX: 04-780999

## 16. インターネット・プロバイダー

## ・iWayAfrica

20 King George Road, Avondale

PaSangano Complex

TEL: 04-338900 (Admin), 338933 (Support)

URL: <http://www.iwayafrica.co.zw/>

## ・Africa Online

7<sup>th</sup> Floor, Goldbridge south, Eastgate

TEL: 04-250890 ~ 8

URL: <http://www.africaonline.co.zw/>E-mail: [info@africaonline.co.zw](mailto:info@africaonline.co.zw)

## ・Zimbabwe Online

3<sup>rd</sup> Floor, Greenbridge, Eastgate

TEL: 04-701701

URL: <http://www.zol.co.zw/>

## ・YoAfrica

194 Baines Avenue/Cnr 10<sup>th</sup> Street, Harare

TEL: 04-760406 FAX: 04-795822

URL: <http://www.yoafrika.co.zw/>

## 17. 国際宅配サービス

- ・DHL Harare  
 Nelson Mandera Street, Harare  
 TEL: 04-250499  
 営業時間: 8時～17時(平日)、8時～12時(土曜)、日曜休み

## 18. 運送会社

- ・Air Link (Pvt) Ltd.  
 Crn Boshoff Dr./New Rd., Graniteside  
 TEL: 04-770040/770041
- ・Manica Zimbabwe Ltd.  
 91 Coventry Rd. Wokington  
 TEL: 04-663754/666751～9
- ・Expresslink (Pvt) Ltd. (Bax Global)  
 14 Lisburn Rd., Workington  
 TEL: 04-753901～5/757323～7
- ・Cargo Services (Pvt) Ltd.  
 76 Cameron Street  
 TEL: 04-752631～3  
 E-mail: cargoaf@mweb.co.zw

## 19. 教育機関

## &lt;インターナショナルスクール&gt;

- ・Harare International School  
 66 Pendennis Rd., Mount Pleasant  
 TEL: 04-883336/870514～5 FAX: 04-883371

## &lt;幼稚園&gt;

- ・Curious Minds Nursery & Preschool  
 3 Boscobel Drive West, Highlands  
 TEL: 04-498719

## 20. 警備会社

- ・Squad Security Services  
 92 Kaguvi Street, Harare  
 TEL: 04-748284～6、773538～9 FAX: 04-748287
- ・Fawcett Security  
 5 Darwin Rd., Workington, Harare  
 TEL: 04-621121～9
- ・Time Security  
 9 Martin Drive, Msasa, Harare  
 TEL: 04-487196～7
- ・Safeguard Security Services (Pvt) Ltd.  
 36 Telford Rd., Graniteside, Harare  
 TEL: 04-751395～9
- ・Guard-Alert (Pvt) Ltd.  
 10 Nuffield Rd., Workington, Harare  
 TEL: 04-754291/754295
- ・Chubb-Union Zimbabwe (Pvt) Ltd.  
 4 Conald Rd., Graniteside, Harare  
 TEL: 04-759196～8/770352～3

## 21. 日本の新聞の購読

- 海外新聞普及(株)(OCS)輸出購読サービス  
 〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13  
 TEL: 03-5476-8131 FAX: 03-3453-8091  
 URL: <http://www.ocs.co.jp/>

## 22. スポーツ施設

## &lt;ゴルフ場&gt;

- ・Chapman Golf Club  
 Samora Machel Ave. East Eastlea

---

 TEL:04-747487/747328 FAX:04-747969
 

---

 料金:ビジター30ドル(18ホール)、会員費340ドル/3ヶ月(プレー毎に払う必要なし)
 

---

 ・Royal Harare Golf Club
 

---

 5<sup>th</sup> Street Extension
 

---

 TEL:04-702920/790954/790960 FAX:04-702927
 

---

 <フィットネスクラブ>
 

---

 ・Triton Health, Fitness Rehabilitation
 

---

 Centre 176 Enterprise Rd., Lewisam Shops, Chisipite
 

---

 TEL:04-497679
 

---

 料金:90ドル(登録料・入会費)、60ドル/月
 

---

 マシン利用可、エアロビクスあり。
 

---

 5:00~20:00(月~木)、5:00~19:30(金)、6:00~12:00(土)、7:00~11:00(日)
 

---

 <乗馬クラブ>
 

---

 ・Akervoort Riding School
 

---

 146 Coronation Avenue, Greendale, Harare
 

---

 TEL:04-492639
 

---

 23. 語学学習施設
 

---

 ・Speciss College
 

---

 10 Livingstone Ave., Harare
 

---

 TEL:04-708494 FAX:04-737640
 

---

 ・Zimbabwe German Society
 

---

 51 Lawson Avenue, Milton Park, Harare
 

---

 TEL:04-796836/704045 FAX:04-796836
 

---

 24. 主要観光地のホテル
 

---

 <Victoria Falls(ビクトリア瀑布)>
 

---

 ・Elephant Hills Resort & Conference Centre
 

---

 ParkWay Drive
 

---

 TEL:013-44580/44538/42220/44620/44793~9
 

---

 1992年に完成した大型ホテル。18ホールのゴルフ場、プール、カジノがある。
 

---

 ・Victoria Falls Hotel
 

---

 Mallet Drive
 

---

 TEL:013-44203,5/44761
 

---

 1905年にできた植民地時代の様式を残す由緒あるホテル。滝まで徒歩で行くことができる。
 

---

 ・Kingdom Hotel
 

---

 Parkway/Mallet Drive
 

---

 TEL:013-44275/9
 

---

 カジノを楽しむことができる。
 

---

 ・Victoria Falls Safari Lodge
 

---

 Victoria Falls National Park
 

---

 TEL:013-43210~4
 

---

 かやぶき屋根の建築様式に特徴がある。
 

---

 <Lake Kariba(カリバ湖)>
 

---

 ・Caribbea Bay Hotel
 

---

 4 Mashonga Ridge, Kariba
 

---

 TEL:061-2452~6
 

---

 カリバ湖岸にあり、湖を一望できる。
 

---

 ・Lakeview Inn
 

---

 Kariba
 

---

 TEL:061-2411~5
 

---

 カリバ湖に面した丘斜面にあり、湖を一望できる。
 

---

 ・Bumi Hills Safari Lodge
 

---

 Bumiland, Kariba
 

---

 TEL:061-2352~3
 

---

 カリバ空港から軽飛行機で島へ移動する。
 

---

 ・Fothergill Safari Lodge
 

---

 Fothergill Island, Kariba
 

---

 TEL:061-2253, 2396, 2378~9
 

---

 カリバ湖岸からボートで島へ移動する。
 

---

## &lt;Great Zimbabwe(グレート・ジンバブエ)&gt;

- ・Great Zimbabwe Hotel
  - Masvingo
  - TEL:039-64173/65431

## &lt;Nyanga(ニヤンガ)&gt;

- ・Montclair Casino Hotel
  - Juliasdale
  - TEL:0129-441
  - 4つ星ホテル。カジノがある
- ・Troutbeck Inn
  - Nyamaropa Rd., Nyanga
  - TEL:0298-305~7
  - 3つ星ホテル。マス釣り、乗馬、テニス(1面)、ゴルフ(変化に富んだ山岳コース)が楽しめる。

## &lt;Vumba(ブンバ)、Chimanimani(チマニマニ)&gt;

- ・Leopard Rock Hotel(Vumba)
  - Vumba, Mutare
  - TEL:04-791483
  - 18ホールのゴルフコースとカジノがある。

## &lt;野生動物公園&gt;

- ・Hwange Safari Lodge
  - Dete, Hwange
  - TEL:081-331~3
  - サファリや村訪問ツアーができる。

## &lt;ハラレ市郊外&gt;

- ・Imire Safari Ranch
  - Wedza, Marondera
  - TEL:022-22094、0772 522 201
  - ハラレから105km。サイやライオンを見ることができる。また、ゾウに乗ることもできる。
- ・Harare Safari Lodge
  - Lake Chivero, Harare
  - TEL:04-690202 (予約)04-700911~2
  - チベロ湖のほとりにあり、サンセットクルーズができる。
- ・Bally Vaughn Animal Sanctuary
  - TEL:04-497588、0772 592 944、0772 106 819

## 25.旅行代理店

- ・Shanyayi Travel
  - 4th Floor Travel Centre South Wing, Cnr 3rd St. & Speke Ave.
  - TEL:04-792484/792487/792493 FAX:04-792497
  - E-mail:shanyayi@ecoweb.co.zw

## 26.運送会社

- ・Manica Zimbabwe Ltd.
  - Hurudza House Corner Baker Ave./Park St.
  - TEL:04-736091